

日本図書館情報学会会報

No. 199

2024年9日

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学 金井喜一郎研究室内
（事務局業務に関する問合せ先）
（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会
E-mail：office@jslis.jp 学会ウェブページ：<http://www.jslis.jp/>
ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店 口座番号＝当座0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

2024年度会員集会開催のお知らせ

会長 岸田和明

2024年度日本図書館情報学会会員集会を、下記のとおり、第72回研究大会の二日目に開催いたします。正会員ならびに学生会員のみなさまにおかれましては、多数ご出席いただきますよう、ご案内申し上げます。本会報には、2024年度定例（通信）総会の投票に際して寄せられたご意見やご質問に対して、常任理事会としての考え方に基づいて回答しています。会員集会では、これらのご意見に基づく発展的な意見交換をしたいと存じます。また、定例（通信）総会の議案とは直接関係がない事項につきましても、会員のみなさまのご意見を頂戴できたらと思います。よろしくお願い申し上げます。

日時：2024年9月29日（日）12:40-13:55

会場：筑波大学 春日キャンパス 春日講堂

次第：

1. 会勢報告
2. 2024年度定例（通信）総会の議案投票結果報告
3. 委員会等報告
4. 意見交換，質疑
5. その他

2024年度学会賞等授賞式

会員集会の開始前の12時40分より、同会場において2024年度学会賞・論文賞・奨励賞の選考結果を発表し、授賞式を行います。ご臨席いただきますよう、お願い申し上げます。

2024 年度定例(通信)総会の投票結果

有権者数 605 (2024 年 6 月 1 日現在)

投票総数 290 (内訳: 郵送投票 0, 電子投票 290)

有効投票数 290

有効投票率 47.9% (参考: 2023 年度 26.8%)

無効投票数 0

第一号議案 2023 年度事業報告・事業監査報告

第二号議案 2023 年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2024 年度事業計画案

第四号議案 2024 年度予算案

投票の内訳

	第一号議案	第二号議案	第三号議案	第四号議案
賛	290	290	290	290
反	0	0	0	0
白票	0	0	0	0
無効票	0	0	0	0
合計	290	290	290	290

日本図書館情報学会規約第 11 条第 1 項(正会員の 5 分の 1 以上:121)により総会は成立しました。第一号議案から第四号議案については、第 11 条 2 項(出席正会員の過半数: 145)により、承認されました。よって、全議案は成立しました。

正会員から寄せられたご意見など (回答は常任理事会による)

1) 会報 No.198 における定例(通信)総会、第一号議案の記載について。「1.(1)定例(通信) 総会の開催」では、総会の成立についての記述がないようです。規約第 11 条に基づき正会員の 5 分の 1 以上の投票があったことを示すべきではないでしょうか。総会の成立、議案の成立の順だと考えます。

(回答)

以後気を付けます。以下は望ましい表記です。“投票締切日を 2023 年 6 月 30 日として定例(通信)総会を実施し、有権者数 603 に対し、投票総数 157、有効投票数 157 であった。正会員の 5 分の 1 以上の投票を条件とする規約第 11 条により総会は成立した。投票の結果、全議案は成立した。”

2) 会報 No.198 における定例(通信)総会、第二号議案の記載について。「2023 年決算報告 (収入の部) 1. 会費の入会金」の備考欄に「クレジット決済 10 件」と記載されていますが、「クレジット決済 12 件」の誤記ではないでしょうか。

(回答)

誤記ではありませんが、罫線がないため事項の切れ目がわかりにくくなっています。次年度以降、表記

法を改善いたします。

3) 会報 No.198 における定例(通信)総会，第三号議案の記載について。「1. 運営事業(12)能登半島地震被災会員への支援」で「2024 年度の会費を補助する」と記載されていますが、「免除する」ではなく「補助する」とした理由の説明をお願いします。

(回答)

各年度の事業計画および事業報告に記載のとおり，2020 年度から 2022 年度まで「コロナ禍対策事業」として，正会員および学生会員の会費「補助」を実施しました。また 2023 年度は「学生会員への支援」事業として，学生会員の会費「補助」を実施しました。これらに合わせて「能登半島地震被災会員への支援」事業においても会費を「補助する」としました。

4) 会報 No.198 における定例(通信)総会，第四号議案の記載について。「2024 年度予算案（支出の部）2 研究事業費」の欄の項目と予算の最後の行にそれぞれ「—」が記載されていますが，不要ではないでしょうか。

(回答)

これは報告書を会報に転記する際に起こった編集上のミスです。以降，気をつけます。

5) 内規は理事会決定のため，改正された内規の本文のみが学会ウェブサイトに表示されますが，どの箇所が改正されたかがわかりませんので，条文の新旧対照表を付記するなどの配慮をお願いします。

(回答)

旧規定については総務委員会に問合せいただければファイルを送付いたします。

6) 学会賞を共同研究にも出すという幹事の提案について，本学会の研究評価の根幹に関わる事なので慎重に判断していただきたい。個人著作と共同著作とでは評価ポイントがかなり異なると思われるが，そうしたものを同一基準で評価できるのかということである。

(回答)

さまざまなご意見があるものと思います。まずは学会賞選考委員会で検討してまいります。

7) 学会はもっと研究面でリーダーシップをとるべきと考える，とくに勉誠出版から出ていたシリーズ本が出せなくなったのは残念である。せっかく『図書館情報学事典』を編纂してある種の方向性を出したところなので，研究のフロンティアを積極的に示し拡張するような仕掛けがほしい。

(回答)

2018 年で終了した「わかる！図書館情報学」シリーズ，2023 年刊行の『図書館情報学事典』に続いて，図書館情報学研究の土台強化をねらい，キャリア初期研究者を対象に，執筆支援付きの出版物の刊行を新たに企画中です。これまでにない方法であるため準備に時間を要しており，申し訳ありません。ぜひご期待ください。

8) 定例(通信)総会において保留，棄権といった選択肢を設けてもいいと思います。

(回答)

検討させていただきます。

9) 定例(通信)総会の投票率を上げるための方策として ID, パスワードをハガキで送ったと理解しています。ただし、セキュリティ上の観点からは、このハガキのみでログインできてしまう以外に、パスワードを他のサービスと共通のものを使っている方にとってはパスワード漏洩の懸念があるように思えます。

・投票率向上のために ID・PW をはがきで通知するのはよい取り組みだと思います。一方、6/3 からの週に発送実施となると、ウェブですでに投票済みの人にも届くことになり、余分な郵送費が発生してしまいます。ウェブ上の問い合わせの仕組みを作ることができないか、郵送とのコストと比較しつつ、検討していただくのはいかがでしょうか。

(回答)

今年度、投票率が大幅に向上したのは、ハガキによる ID・PW の通知による効果だと考えています。とはいえ、ご指摘のとおり、コストやセキュリティの点から、毎年継続すべき手続きではありません。少なくとも来年度は、別の手段での投票率の維持・向上を検討いたします。

10) 繰越金が多いのであれば、年会費を減額していただきたいです。

・現状から即して、正会員の会費(8,000 円)は高額であるように思います。多額の繰越金があるようですし、会費を大幅に下げてくださいたく思います。

・繰越金が多すぎる場合は会費を引き下げてもよいと思います。

(回答)

2024 年度事業計画での「1. 運営事業」の(11)にありますように、今年度、「学会収支構造の検討」を行います。その結果とともに、学会誌のエンバーゴ廃止に伴う会員の異動状況を鑑みつつ、検討していく必要があると考えています。

11) 学会ウェブサイトのトップページから SOLTI のサイトへのリンクがあると、投票や会費支払の際に便利かと存じます。

(回答)

学会トップページのメニュー「入会案内」－「会員情報の変更」の記事内に"会員情報システム"として SOLTI へのリンクがあります。確かに分かりにくく、改善を検討します。なお、定例(通信)総会システムは別アドレスとなりますので、総会毎に告知いたします。

12) 現在の世界的な流れとなりつつある「高等教育機関における授業改善への取り組み」を踏まえて図書館情報学に関する授業改善などをターゲットにしたシンポジウムや研究会、助成企画に取り組んでも良いのではないかと感じております。

(回答)

貴重なご意見ありがとうございます。

13) 研究集会の会場とオンラインのハイブリッド開催を検討していただきたい

(回答)

技術的に困難な面があり、実現が難しい状況です。

その他、事務局または常任理事会への激励などが 6 件ありました。

役員会等の記録

2024 年度第 2 回常任理事会（開催記録）

日時：2024 年 7 月 13 日（土）12:30～14:30

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，小山，浅石，大場（記録），須賀，金井

欠席者：呑海

1. 定例(通信)総会結果の確認
2. 各委員会等に関する報告・協議事項
3. 今後の活動

2024 年度第 3 回常任理事会（開催記録）

日時：2024 年 9 月 6 日（金）12:30～14:20

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，小山，浅石，大場（記録），須賀，金井

欠席者：呑海

1. 各委員会等に関する報告・協議事項
2. 2024 年度会員集会の次第整理
3. 2024 年度第 2 回理事会の議題整理
4. その他

新出版企画「2030 年代の図書館と情報サービス」シリーズの

お知らせ

日本図書館情報学会では、新しい出版企画として、「2030 年代の図書館と情報サービス」をスタートいたします。学会 web サイト上に電子ファイルを掲載し、オープンアクセスの形で出版します。

これまでの出版物とは異なる特徴は、いわゆる「キャリア初期研究者」の出版活動を促進する目的で、執筆支援付きの事業とした点にあります。執筆期間中、1 か月に 1 回程度、個別に（一部全体で）、メンター（執筆支援担当者）と相談の時間を設けます。つきましては、下記の要領により、第 1 巻（公共図書館）の執筆者とメンターを公募します。

1. シリーズの内容

今後 10 年後を志向するような国内外の図書館と情報サービスの新しい話題を中心とする。

刊行頻度： 年 1 回

構成： 全 3 巻

- ・ 第 1 巻 公共図書館（試行）

- ・ 第2巻以降 未定（人材育成やサービスなどの特定のトピック，他館種のトピック，図書館以外の情報サービスなど）

2. 論文の分量

A4判 10p（約14,400字）程度

3. 募集・執筆期間

募集期間：2024年9月1日～10月末日

執筆期間：2025年1月～2025年8月（予定）

4. 応募資格（執筆者）：

「キャリア初期研究者」に該当する会員（3名程度）

- ・ キャリア初期研究者とは，研究をスタートして間もない研究者を指すことばです。範囲は緩やかに解釈し，大学院の進学歴や修了後の年数などに一律の規定は設けません。個別の事情を勘案し，総合的に判断します。実務者の立場で研究をしておられる方などの応募も歓迎します。
- ・ 日本図書館情報学会会員でなくても応募できますが，執筆が決定した際には入会を求めます。

5. メンター

須賀千絵ほか。応募テーマ等を勘案し，会員から選定します。

6. 注意

本シリーズは，学会出版物として刊行します。『日本図書館情報学会誌』を含め，投稿を未刊行の原稿に限定している学術雑誌等に，本シリーズに執筆した内容と同一の内容を投稿することはできません。

7. 申込・問い合わせ

申込

<https://forms.gle/rjGsmczcPEDaVLDHA>



問い合わせ

日本図書館情報学会出版事業検討ワーキンググループ pubwg@jslis.jp

担当：須賀千絵（日本図書館情報学会常任理事）

委員会・事務局より

2024年度の会費納入について

2024年度の会費払込用紙は6月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。

未納会費の納入について

2023年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2022年度までの会費を未納の場合は、2023年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員（学生会員は2年）については、その年度末（3月31日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を1年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で2024年4月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から8,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号＝当座 0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- アレックス・ライト 著，鈴木和博 訳，根本彰 解説『世界目録をつくろうとした男：奇才ポール・オトレと情報化時代の誕生』みすず書房，2024
- 情報科学技術協会 監修，原田智子 編著，吉井隆明，森美由紀 著『検索スキルをみがく：検索技術者検定3級公式テキスト』第3版，樹村房，2024
- すがやみつる 著，澤田将史 監修『マンガ家と学ぶ著作権実務入門』樹村房，2024
- 宮沢厚雄 著『編集の実務と印刷・紙・製本』（図書館のための出版キイノート3）樹村房，2024
- 未来の図書館研究所 編『図書館と知識社会』（未来の図書館研究所調査・研究レポート 2023，第7号）未来の図書館研究所，2024

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には，可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）